

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<43週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週から増加傾向が認められており、本週も増加した / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-5

<マイコプラズマ肺炎> 2003年は過去の報告より高いレベルで推移している
<水痘> 第43週では例年より報告数が多くなっている
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 第43週では例年に比べて報告数が多くなっている



病原体情報
P.6-8

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年 / エンテロウイルス71型&コクサッキー - A16型ウイルス 2003年まとめ



速報
P.9-13

カリシウイルスの命名変更について / 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律」の概要 / 感染症法対象疾患の見直しについて



海外感染症情報
P.14-15

チャドでのポリオ / インドでのデング熱流行 / ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ



感染症の話
P.16

<今週はお休みです>



読者のコーナー
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(43週)
P.17-23



43週のデータ
P.24-32



発生動向総覧

第43週コメント 10月30日集計分

全数報告の感染症

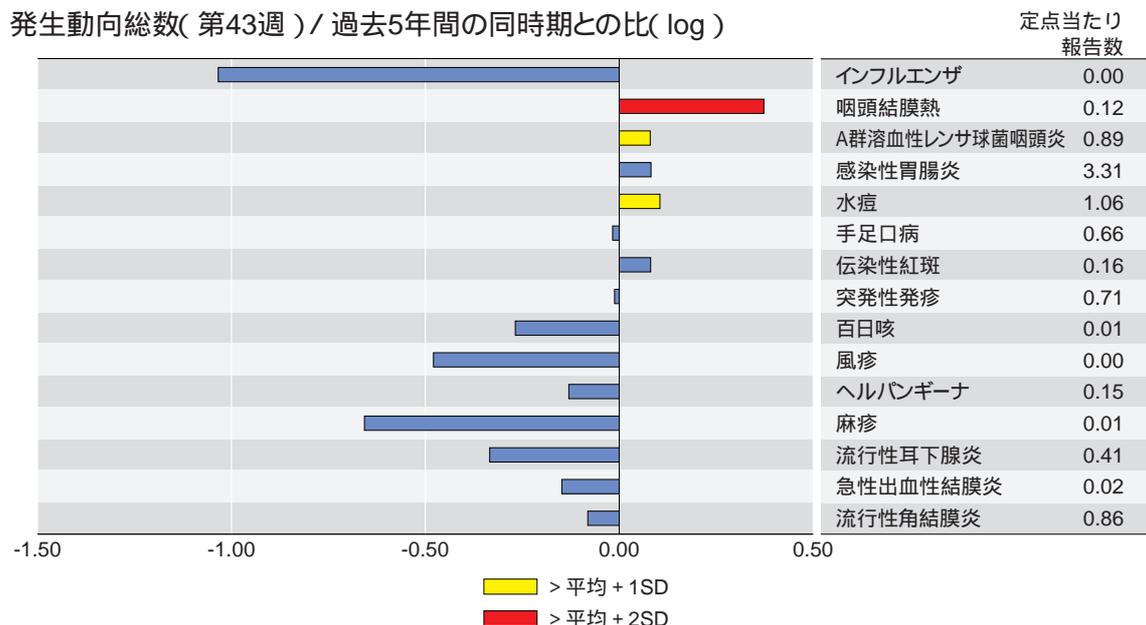
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症 : 報告なし
- 2類感染症 : コレラ 1例(推定感染地域: インド)
細菌性赤痢 10例(推定感染地域: 国内4例、中国1例、エジプト1例、キューバ1例、ブラジル/ペルー1例、その他1例、不明1例)
- 3類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 52例(うち有症者23例)
報告の多い都道府県: 熊本県17例、静岡県7例
血清型・毒素型: O26 VT1(18例)、O157 VT1・VT2(17例)、O157 VT2(7例)、その他(10例)
年齢: 10歳未満(25例)、10代(7例)、20代(6例)、30代(3例)、40代(3例)、50代(2例)、60代(5例)、70歳以上(1例)
- 4類感染症 : アメーバ赤痢 1例(推定感染地域: 国内)
オウム病 1例(推定感染源: 不明、DIC発症)
急性ウイルス性肝炎 3例 A型1例(推定感染地域: 国内)
B型2例(推定感染経路: とみに不明)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性、67歳)
後天性免疫不全症候群 6例(AIDS 2例、無症候4例)
男性/女性: 6例/0例
推定感染経路: 性的接触6例(異性間3例、同性間3例)
推定感染地域: 国内5例、タイ1例
ツツガムシ病 3例(山形県、福島県、大分県)
デング熱 1例(推定感染地域: インド)
日本紅斑熱 1例(高知県)
梅毒 4例(早期顕症1期1例、晩期顕性2例、無症候1例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
(菌検出検体: 胸水 . 遺伝子型: VanC . 92歳)
レジオネラ症 1例(62歳)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第43週) / 過去5年間の同時期との比(log)

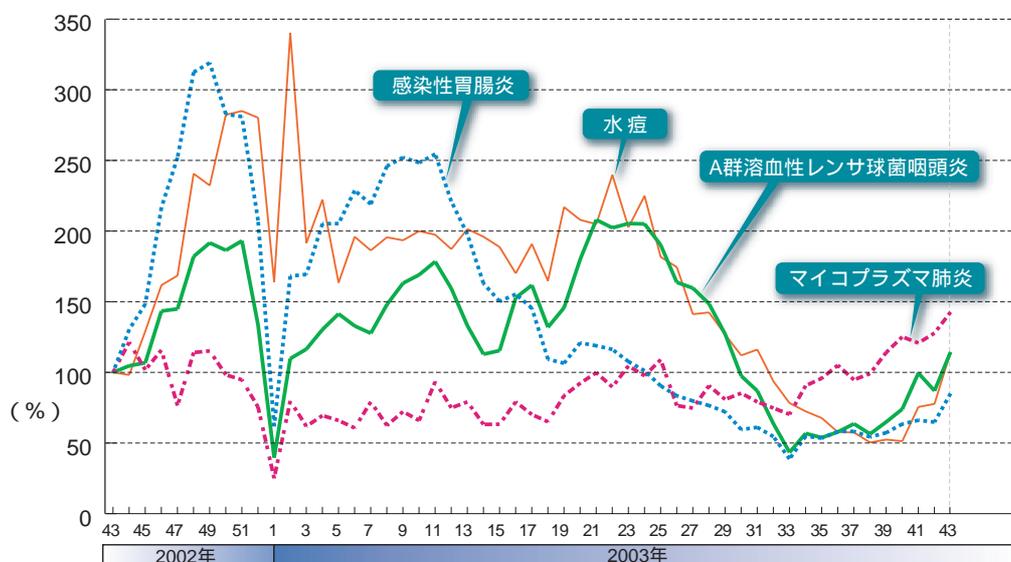


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は週により緩急はあるものの減少し続けていたが、今週は微増した。過去10年間の当該週と比較して相変わらず第16週から最高の値を持続しており、第43週までの累積定点当たり報告数の過去10年間の平均と比較すると、2.8倍を示す大きな流行となっている。都道府県別では、鳥取県(0.7)、愛媛県(0.5)、大分県(0.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週から増加傾向が認められており、本週も増加した。過去5年間の同時期(前週、当該週、翌週)と比較してやや多く(前ページグラフ参照)、都道府県別では鳥取県(3.6)、山形県(2.4)、宮崎県(1.6)が多い(「注目すべき感染症」参照)。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では福井県(8.8)、栃木県(8.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は第41週から増加傾向が認められており、本週も過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山形県(2.2)、群馬県(1.8)、北海道(1.7)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加して0.34で、都道府県別では岡山県(3.0)、鳥取県(1.6)、茨城県(1.2)、佐賀県(1.2)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第43週)



2002年第43週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



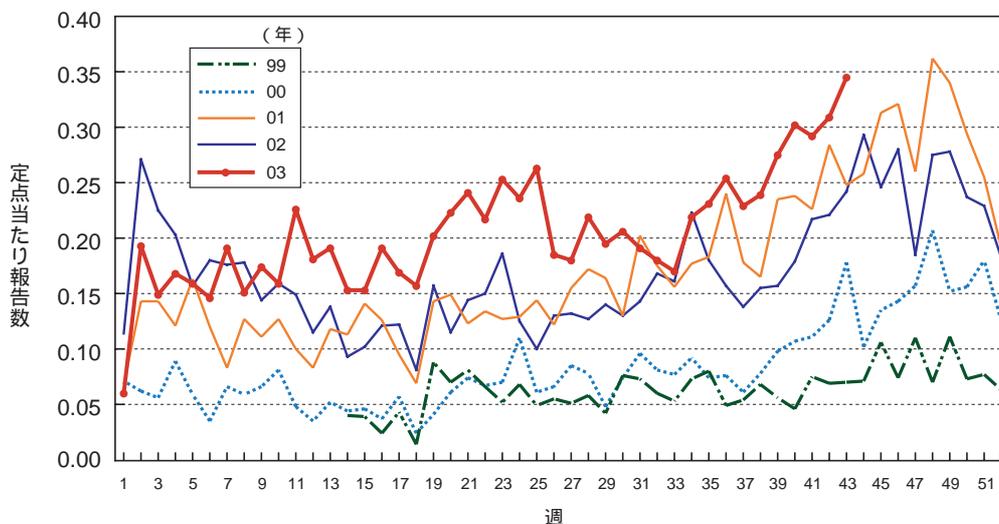
注目すべき感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、1999年4月のいわゆる「感染症法」施行以降の発生動向調査では4類感染症定点把握疾患となり、独立した疾患として、全国約500カ所の基幹定点医療機関から報告されている。本疾患は従来4年周期で、オリンピックのある年に流行を繰り返してきたが、近年この傾向は崩れつつある。年間での推移をみると、晩秋から冬にかけて増加がみられている。図に感染症法施行以来の週別の定点当たり報告数を示す。

2003年の報告数は過去の報告より高いレベルで推移している。今年は5月下旬～6月上旬に報告数が多かったが、ここ数週間でも全体として報告数は漸増傾向にある。年齢群別の報告数では1～4歳が最も多く、続いて5～9歳が多い。今冬のSARS対策としても、鑑別診断としてインフルエンザやマイコプラズマ肺炎などの呼吸器感染症は重要であり、可能な限り病原体を把握することが望まれる。

図 . マイコプラズマ肺炎の年別週別発生状況



水痘

水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる感染症で、潜伏期は2週間程度(10 ~ 21日)である。発疹は全身性で掻痒を伴い、紅斑、丘疹を経て短時間で水疱となり、痂皮化する。数日にわたり新しい発疹が次々と出現するので、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在することが特徴である。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38 前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半である。しかし、成人ではより重症になり、合併症の頻度も高い。通常呼吸器症状や胃腸症状を伴うことはない。合併症の危険性は年齢により

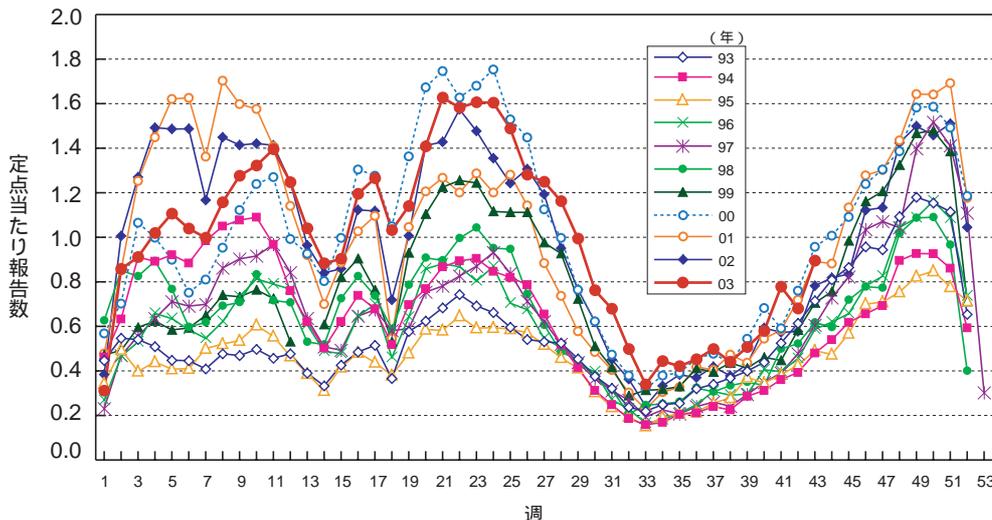
異なり、健康な小児ではあまりみられないが、15歳以上と1歳以下では高くなる。

治療としては通常、石炭酸亜鉛華リニメント(カチリ)などの外用が行われる。抗ウイルス剤のアシクロビル(ACV)は、重症水痘、および水痘の重症化が容易に予測される免疫不全者などでは第一選択薬剤となる。健常者の水痘についても、ACVの経口投与は症状を軽症化させるのに有効であると考えられているが、全ての水痘患者に対して投与する必要はないと思われる。インフルエンザと同様に、水痘感染時にはアスピリンの内服によるライ症候群の危険性があるので、注意を要する。例年、冬季にかけて報告数は増加するが、本年第43週では例年に比べて報告数が多くなっている。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

近年、報告患者数は増加傾向にあるが、これには迅速診断キットの普及による影響もあると思われる。患者報告は毎年この時期から冬にかけて徐々に増加してくるが、本年は例年より早く報告数が増加しており、第43週では例年より報告数が多くなっている(図参照)。年齢群別では4～6歳の報告が多い。

図 .A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別週別発生状況





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2003年10月31日現在報告分)

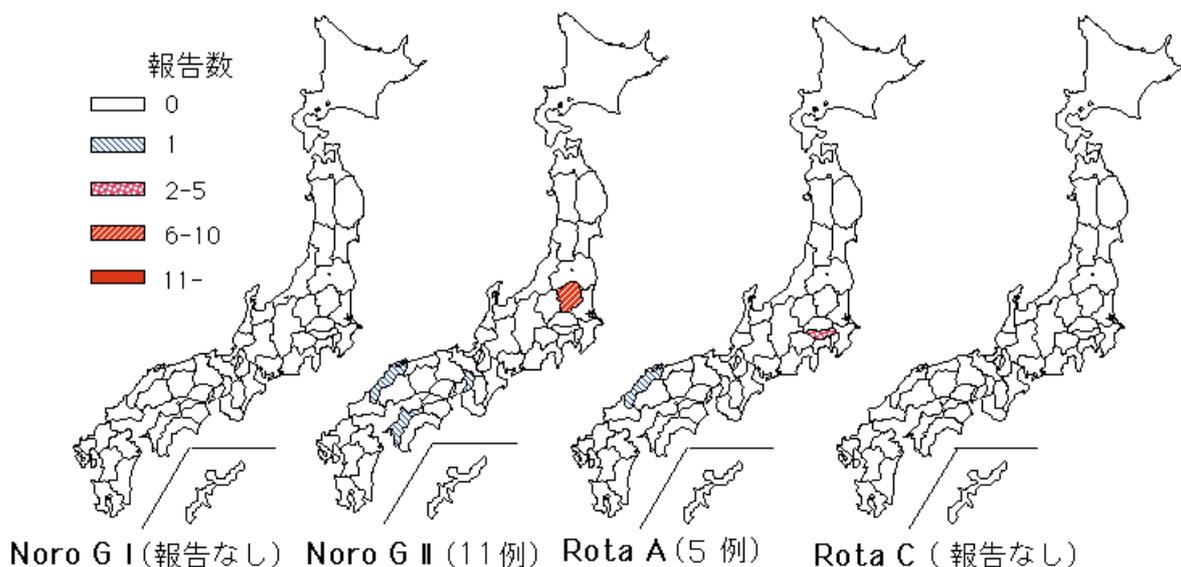
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

2003/04シーズンに入り、A群ロタウイルスが東京都から4件(第36、37、42週)、島根県から1件(第38週)の検出報告があり、SRSVはノロウイルス(Norovirus)*genogroup IIが栃木県8件(第37～40週)、大阪府1件(第37週)、島根県1件(第39週)、愛媛県1件(第40週)の検出報告である。

*本号より、ノーウォーク様ウイルス(NLV)からノロウイルスへと名称を変更いたします(詳細は本号速報記事“カリシウイルスの命名変更について”参照)。

都道府県別 SRSV・ロタウイルス検出報告状況、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年10月31日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

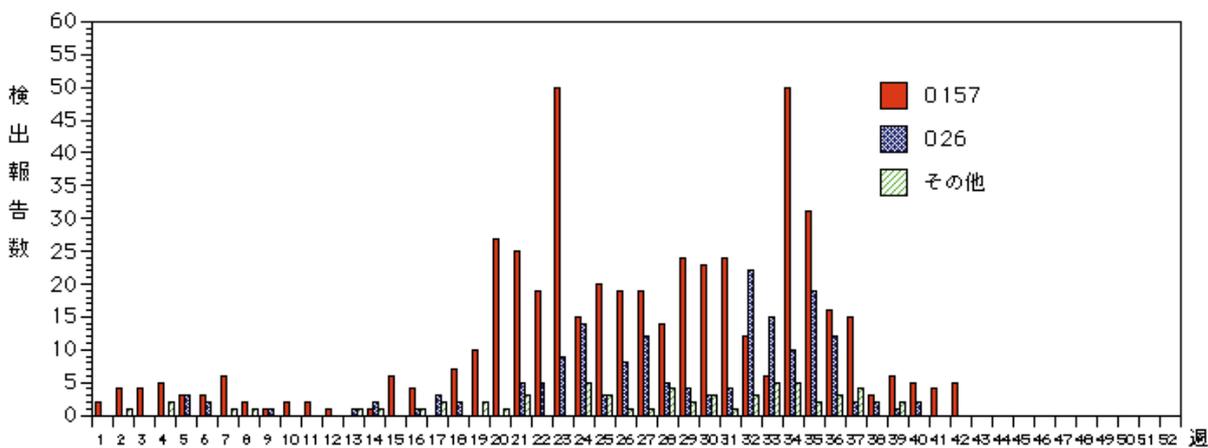


Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は726件で、うちO157が495件、O26が171件、その他の血清型が60件報告されている。最近では、O157が第41週に富山県2件(いずれもVT1&2)、東京都1件(VT2)、京都府1件(VT2)、第42週に東京都4件(VT2が3件、VT不明1件)、京都府1件(VT1&2)の検出報告である。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2003年 (病原微生物検出情報: 2003年10月31日現在報告数)



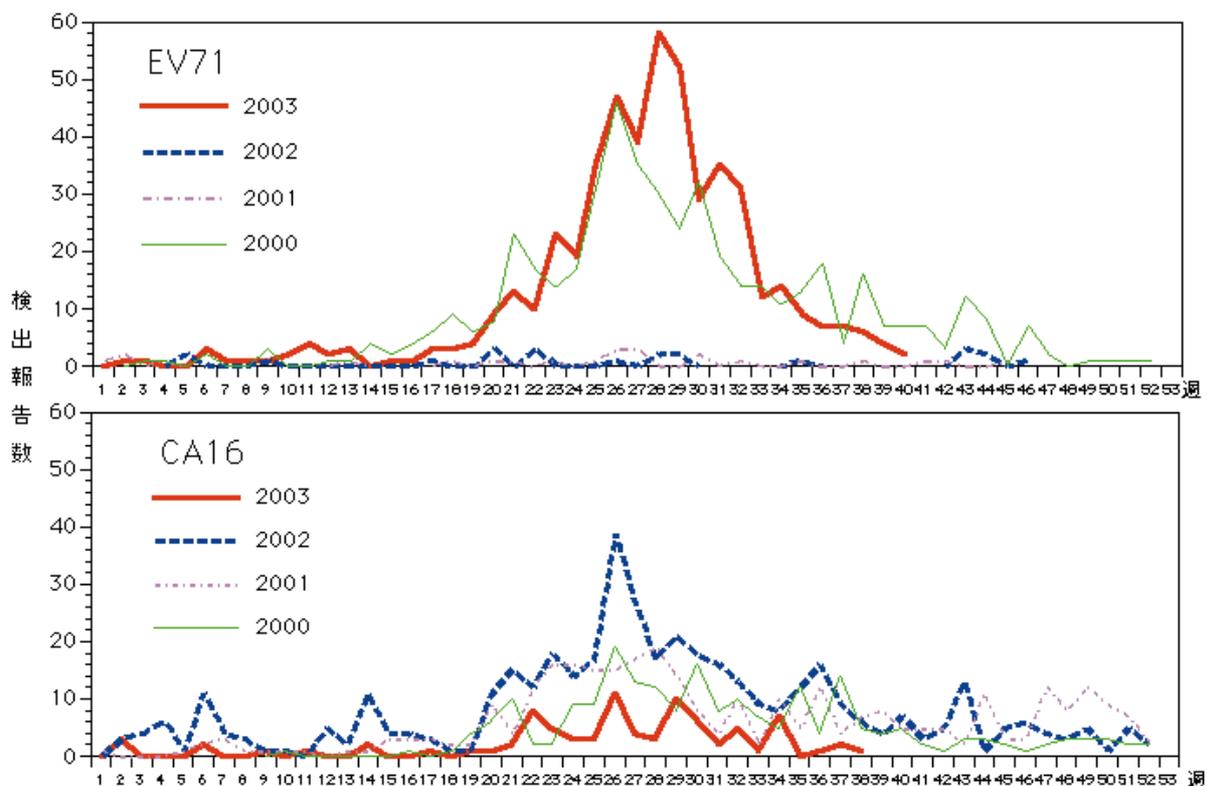
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



エンテロウイルス71型&コクサッキーA16型ウイルス 2003年まとめ

手足口病の主な起因ウイルスであるエンテロウイルス71型(EV71)とコクサッキーA16型ウイルス(CA16)は、それぞれ492件、86件の分離が報告されている。昨年(2002年)はCA16の分離が多く、EV71の分離報告はわずかであったが、本年は第20週以降EV71が増加し、2000年以来3年ぶりにEV71が流行した。EV71のピークは第28週(58件)で、2000年のピーク時の報告数(46件)を上回り、総報告数でも2000年の年間報告数491件を上回っている。これまでに30都道府県(広島県92、福島県58、山形県50、愛媛県46、高知県43など)から報告されている。一方CA16は、目立ったピークはないものの夏季を中心に検出報告があり、18府県(愛知県18、新潟県12、岩手県9、愛媛県9など)から報告されている。

週別EV71&CA16分離報告数、2000年～2003年 (病原微生物検出情報: 2003年10月31現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





カリシウイルスの命名変更について

個々のウイルスの分類学上の位置づけを明確にするためには、ウイルスの分類と命名の基本原則を理解しておく必要がある。個々のウイルスに関する情報発信、情報受信は共通認識の基に行うことが重要であり、それによつてはじめて意思疎通を図ることが可能となる。昨今のウイルスの同定は遺伝子の分子系統解析による場合が多く、分類と命名法の原則を理解しておくことが不可欠である。

ウイルスの分類と命名は国際ウイルス命名委員会(International Committee on Taxonomy of Viruses, ICTV <http://www.ictvdb.iacr.ac.uk/ictv/fr-fst-g.htm>)が行っている。これまでICTVは3年から9年間隔でウイルスの分類命名法を変更してきたが、直近のものは1999年8月に提唱された第7次報告である。第6次報告までの経緯と命名に由来する混乱、さらに第7次報告が出てからのわが国におけるカリシウイルスワーキンググループの提言は中込らの総説¹⁾に詳しく述べられている。本稿では、2002年の国際ウイルス学会で承認された命名法の変更点を解説する。これは第8次報告として出版されるはずである。

ICTVによるウイルス命名の順序は上位から「科(family)」、「属(genus)」、「種(species)」、「株(strain)」で、このうちICTVが取り仕切るのは「科」、「属」、「種」までである。第7次報告ではじめて「種」を「科」や「属」と同格に扱い、ICTVはウイルス分類における「種」の重要性を前面に押し出してきた。「株名」は発見機関、発見者、あるいは研究者が独自に決めてよいことになっている。「科名」、「属名」、「種名」は、正式に名称として確立したときにはじめて「大文字で始まるイタリック体」で記述する。

さて、カリシウイルス科(*Caliciviridae*)は前回の第7次報告で4つの属に分類された。すなわち、ベジウイルス(*Vesivirus*)、ラゴウイルス(*Lagovirus*)、ノーウォーク様ウイルス(“Norwalk-like viruses”)、およびサッポロ様ウイルス(“Sapporo-like viruses”)である。これらのうち人の病気と関連するのはノーウォーク様ウイルスとサッポロ様ウイルスで、ともに急性胃腸炎を起こすウイルスである。これらが、2002年のICTVの提言と、同年パリで開催された第12回国際ウイルス学会での承認を経て、それぞれノロウイルス(*Norovirus*)とサポウイルス(*Sapovirus*)に変更になった。ノーウォーク様ウイルス、サッポロ様ウイルスは一時的な命名であったために、英語ではダブルクォーテーションでくられ、標準体で記載されていたが、今後はそれぞれ「*Norovirus*」、「*Sapovirus*」のようにイタリック体で記載されることになる。要は、7次から8次への変更で「ノーウォーク様ウイルス」が「ノロウイルス」に、「サッポロ様ウイルス」が「サポウイルス」に名称が変わり、正式属名になったということである。ICTVの命名規約には、「属名に地理的名称を冠してはならない」という項目があるが、それでも「何とかウイルスの分離地を匂わせておきたい」、「しかも4文字の属名」という制約があり、その中でのぎりぎりの選択であったと推測される。

「*Norovirus*属」の下の「種」はいまのところ「*Norwalk virus*」ひとつである。将来、*Norovirus*属の中に遺伝学的に、あるいは遺伝子構造上異なるウイルスが発見された場合には新たな種として命名される可能性がある。「種」である「*Norwalk virus*」は属名より一足早く第7次報告で正式名称となっていたので、それ以来イタリック体であった。「ノロウイルス」の分類上の順序は「*Caliciviridae*科」、「*Norovirus*属」、「*Norwalk virus*種」、「個々のstrain」となる。「*Norovirus*属」(現在は「*Norwalk virus*種」といっても同義である)のウイルスはその遺伝子解析からGenogroup と Genogroup に分類され、各々のGenogroupには20種以上の遺伝学的に異なる株が存在してい

る。Genogroupは分類上「*Norwalk virus*種」と「個々のstrain株」の間に位置するわけであるが、ICTVが提言する「種」より下位の分類であるから、研究者が独自に命名してもよいことになる。ウイルス遺伝子学的な解析の正しい裏付けがあればGenogroup やGenogroup を名乗ることも可能である。「*Norovirus*属」同様に、「*Sapovirus*属」の下の「種」はいまのところ「*Sapporo virus*」ひとつである。よって、「サポウイルス」は「*Caliciviridae*科」-「*Sapovirus*属」-「*Sapporo virus*種」-「個々のstrain」の順序になる。

株名は研究者が独自に決めてよいことになっているが、インフルエンザウイルスの命名法に倣い、個々の株は「由来動物種/属名/株名/分離年/分離国」で記載されてきた経緯がある。例えば、*Norovirus*の標準株である*Norwalk virus*株は「Hu/NV/NV/1968/US」である。*Norwalk virus*と記載した場合、イタリック体で表示するとはいえ、「種名」としての*Norwalk virus*と、「株名」としての*Norwalk virus*は門外漢には区別しがたい。したがって、一度このように定義し、しかる後に*Norwalk virus/68株*(省略形*NV/68*)のように記載すると間違いをせずにすむ。

「科名」、「属名」、「種名」は、「大文字で始まるイタリック体」で記述する、と言うことを述べた。しかし、イタリックでの記載が必要なのはあくまで「科名」、「属名」、「種名」として分類学上用いる場合だけであって、一般的に用いる場合はイタリックにする必要はない。例えば「*noroviruses*」や「*sapoviruses*」のような表記がしばしば論文では用いられている。

正式な属名となったとはいえ、専門誌ではいまだに「*Norwalk-like viruses*」や「*Norwalk-like virus*」の記述が多い。ICTVが公式に決定した以上は正式名称を用いるべきである。専門誌、行政文書を問わず、今後は「*Norovirus*」と「*Sapovirus*」を用いた円滑な情報交換を期待したい。

文 献

- 1) 中込 治他、「臨床とウイルス」第28巻、p.339-347, 2001年

国立感染症研究所ウイルス第二部

武田直和 白土東子 岡 智一郎 片山和彦 宇田川悦子 名取克郎 宮村達男

(IASR2003年12月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律」の概要

厚生労働省健康局結核感染症課

・感染症法の改正内容

1. 緊急時における感染症対策の強化

(1) 感染症の発生状況等の調査に関する国の事務の追加(第15条関係)

厚生労働大臣は、緊急の必要があると認めるときは、自ら感染症の発生状況等の調査を行うことができることとする。

(2) 緊急時における感染症の予防等に関する計画の策定(第9条、第10条関係)

厚生労働大臣の定める基本指針及び都道府県の定める予防計画の中に、緊急時における感染症の予防等の計画の策定に関する事項を追加する。

(3) 関係行政機関に対する指示権限の創設(第63条の2関係)

厚生労働大臣は、感染症の発生を予防し、又はまん延を防止するため緊急の必要があると認めるときは、この法律の規定により都道府県知事等が行うこととされている事務に関し、必要な指示をすることができることとする。

2. 動物由来感染症対策の強化

(1) 動物の輸入に係る届出制度の創設(第56条の2関係)

感染症を感染させるおそれがある動物及びその死体を輸入する者は、輸出国における検査の結果、感染症にかかっていない旨の証明書を添付するとともに、種類、数量、輸入の時期等を届け出なければならないこととする。

(2) 感染症を感染させる動物等の調査(第15条関係)

感染症の発生状況等の調査において、感染症を感染させるおそれがある動物又はその死体の所有者等に対し質問・調査することができることを明確化する。

(3) 獣医師等の責務規定の創設(第5条の2関係)

獣医師、獣医療関係者について、国及び地方公共団体が講ずる施策に協力するよう努めなければならないこととする。また、動物等取扱業者について、動物の適切な管理その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととする。

3. 感染症法の対象疾病及び疾病分類の見直し等

(1) 感染症の類型の見直し等(第6条関係)

一類感染症に「重症急性呼吸器症候群」及び「痘そう(天然痘)を追加する。

現行の四類感染症のうち鳥インフルエンザ等について、媒介動物の輸入規制、消毒、ねずみ等の駆除等の措置を講ずることができるようにするため、四類感染症の類型を見直す。

(2) 都道府県等による迅速な措置(第27条、第28条、第29条関係)

都道府県知事等が、市町村に指示するだけでなく、消毒及びねずみ等の駆除の措置を自ら行うことができることとする。

(3) 地方公共団体における調査体制の強化・連携(第15条関係)

都道府県等は、感染症の発生状況等の調査を行うため、他の都道府県等に対し、検査研究機関の職員の派遣等の協力を求めることができることとする。

4. 検疫との連携(第15条の2関係)

都道府県知事等は、検疫法に基づき、検疫所長から検疫感染症に感染したおそれのある者であって健康状態に異状が生じたものに係る通知を受けたときは、当該者に対し必要な質問又は調査を行うことができることとする。

5. 罰則

2(1)及び4に係る罰則を整備する。

. 検疫法の改正内容

1. 検疫感染症に感染したおそれのある者に対する入国後の健康状態の確認等(第18条関係)

検疫所長は、検疫感染症の病原体に感染したおそれのある者に対し、旅券の提示を求め、入国後の居所、連絡先、氏名及び旅程等の報告を求めるとともに、一定の期間、健康状態の報告を求め、質問を行うことができることとする。

検疫所長は、の結果、健康状態に異状が生じた者を確認したときは、保健所その他の医療機関の診察を受けるべき旨その他必要な事項を指示するとともに、当該指示した旨を当該者の居所の所在地を管轄する都道府県知事等に通知しなければならないこととする。

2. 新感染症についての医師の診察(第34条の2関係)

厚生労働大臣は、外国に新感染症が発生した場合、当該新感染症の発生を予防し、まん延を防止するため緊急の必要があると認めるときは、検疫所長に、当該新感染症にかかっていると疑われる者に対する診察を行うことを行わせることができることとする。

3. 病原体の検査が必要な感染症の検疫感染症への追加(第2条関係)

国内への病原体の侵入を防止するため、医師による診察及び病原体の有無の検査が必要な感染症(デング熱、マラリア等)を検疫の対象となる感染症に機動的に追加することができるよう、検疫感染症の規定方法を見直す。

4. 新四類感染症に係る応急措置等(第24条、第26条の3関係)

感染症法の四類感染症の類型の見直しに伴い、新四類感染症の患者等を発見した場合の診察・消毒等の応急措置、新四類感染症の病原体保有者を発見した場合の都道府県知事等への通知の規定を整備する。

5. 罰則

1及び2に係る罰則を整備する。

. 施行期日等

公布日: 平成15年10月16日

施行日: 平成15年11月5日。ただし、動物の輸入に係る届出制度の創設は、公布の日から2年以内で政令で定める日。

感染症法対象疾患の見直しについて

厚生労働省健康局結核感染症課

1 類	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱 追加 --- 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。）、痘そう（天然痘）
2 類	急性灰白髄炎、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス
3 類	腸管出血性大腸菌感染症
新4類	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、エキノコックス症、黄熱、オウム病、回帰熱、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、腎症候性出血熱、炭疽、つつが虫病、デング熱、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、ブルセラ症、発しんチフス、マラリア、ライム病、レジオネラ症 追加 --- E型肝炎、A型肝炎、高病原性鳥インフルエンザ、サル痘、ニパウイルス感染症、野兔病、リッサウイルス感染症、レプトスピラ症 変更 --- ボツリヌス症（「乳児ボツリヌス症（4類全数）」を変更）
新5類	（全数）アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風しん症候群、梅毒、破傷風、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 （定点）咽頭結膜熱、インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く。）、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、急性出血性結膜炎、クラミジア肺炎（オウム病を除く）、細菌性髄膜炎、水痘、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、風しん、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、麻しん（成人麻しんを含む。）、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、淋菌感染症 追加 --- バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症（全数）、RSウイルス感染症（定点） 変更 --- 尖圭コンジローマ（定点）（「尖形コンジローマ」から変更）、急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く。定点把握から全数把握に変更）

（注）従前の4類感染症は、媒介動物の輸入規制、消毒、ねずみ等の駆除、物件に係る措置を講ずることができる新4類感染症と、これまでどおり発生動向調査のみを行う新5類感染症に分けることとする。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

チャドでのポリオ

WHO/CSR 2003年10月29日

ナイジェリア、カメルーン、中央アフリカ共和国との国境に近い、チャド南部のMayo-Kebbi州と Logone Orientale州で、8月2日と27日に麻痺を発症した2名が、ポリオ1型ウイルスによる麻痺性ポリオ患者と確認された。

チャドでは、2000年6月以来ポリオ患者は報告されてなかった。チャドで検出されたウイルスは、2002年と2003年にナイジェリア北東部で感染循環したウイルスと遺伝子的に類似していた。今年初めのブルキナファソ、トーゴ、ガーナでのポリオ1型ウイルスによる麻痺性ポリオ報告に続いて、チャドの患者が発生した。

ブルキナファソ、トーゴ、ガーナでも、ポリオウイルス野生株の発生は過去2年以上報告されてなかった。これらの3カ国で検出されたウイルスは、2002年と2003年にナイジェリア北部と南部で感染循環したポリオ1型ウイルスと遺伝子的に関連があった。

ナイジェリアは、世界でポリオウイルスのリザーバーとなっている3カ国の1つであり、西アフリカや中央アフリカでポリオの存在しない国を再汚染する危険が大きい。

WHOはチャドとカメルーンの保健省とともに、5歳以下の小児に対する経口ポリオワクチン(OPV)による同時大規模予防接種キャンペーンを11月5日に開始する計画である。国外から流入したウイルスの拡大を予防し、さらなる流入に対して防護するのに十分な集団的免疫の獲得を確実にするには、ワクチン接種キャンペーン中に全ての小児に対して接種することが鍵となる。

インドでのデング熱流行

WHO/CSR 2003年10月30日

6月1日～10月28日に、検査で確認されたデング熱患者1,723名が、デリーと周辺地域から報告された。検査で確認された患者のうち、4名の死亡が10月28日に報告された。デング出血熱可能性例についてのさらに詳しい情報が求められている。今回の流行では、デング3型ウイルスとデング2型ウイルスが報告された。

WHOはインド保健省と協力し、予防と制圧活動を強化している。

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ

CDC 11月5日、ヘルスカナダ 11月7日

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	33	3
アリゾナ	3	
アーカンソー	21	
カリフォルニア	2	
コロラド	2,477	45
コネチカット	12	
デラウェア	13	1
ワシントンDC	3	
フロリダ	32	
ジョージア	36	4
イリノイ	50	1
インディアナ	30	2
アイオワ	143	4
カンザス	86	4
ケンタッキー	14	1
ルイジアナ	84	1
メリーランド	47	5
マサチューセッツ	16	
ミシガン	8	1
ミネソタ	144	4
ミシシッピ	62	1
ミズーリ	59	5
モンタナ	220	2
ネブラスカ	1,594	21
ネバダ	2	
ニューハンプシャー	3	
ニュージャージー	28	2
ニューメキシコ	199	4
ニューヨーク	67	8
ノースカロライナ	24	
ノースダコタ	422	4
オハイオ	104	3
オクラホマ	75	
ペンシルバニア	212	7
ロードアイランド	6	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	972	13
テネシー	22	1
テキサス	513	26
ユタ	1	
バーモント	3	
バージニア	21	1
ウエストバージニア	3	
ウィスコンシン	13	
ワイオミング	339	8
合計	8,219	182

8,087例の解析にて、5,397例(67%)はウエストナイル熱、2,302例(28%)はウエストナイル髄膜炎/脳炎、388例(5%)は不明。

(米国CDCホームページ <http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm> より)

州	陽性疑い患者数*	陽性確定患者数	死亡者数
ノバスコシア	0	2^	0
ニューバーンズウィック	1^	0	0
ケベック	3	14	0
オンタリオ†	0	89^^^	2^^
マニトバ	106	35	2
サスカチュワン	729	38	6^^
アルバータ††	0	266	0
ブリティッシュコロンビア	7^	12^	0
ユーコン	1^	0	0
合計	847	456	10

(ヘルスカナダホームページ <http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspssp/wnv-vwn/> より)

* 陽性の確定にはさらに検査を必要とする。
 ^ 地域外での感染と思われる症例。
 ^^ 9月3日に卒中で死亡した患者と9月5日に誤嚥性肺炎で死亡した患者の2名は、ウエストナイルウイルスの「陽性疑い患者」に含まれている。
 ^^ 2名の死亡に関して、ウエストナイルウイルスが要因の一つであったと報告されている。
 ^^ 1例は地域外で感染したと考えられる。
 †, †† IgM ELISA陽性例を「陽性確定例」とした。



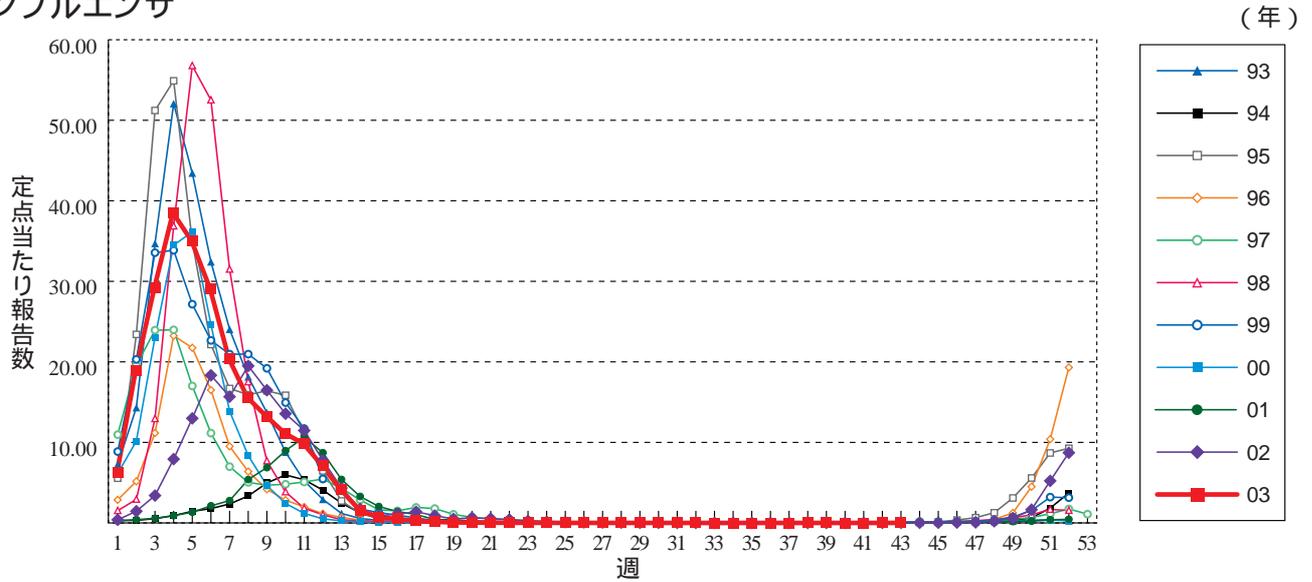
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

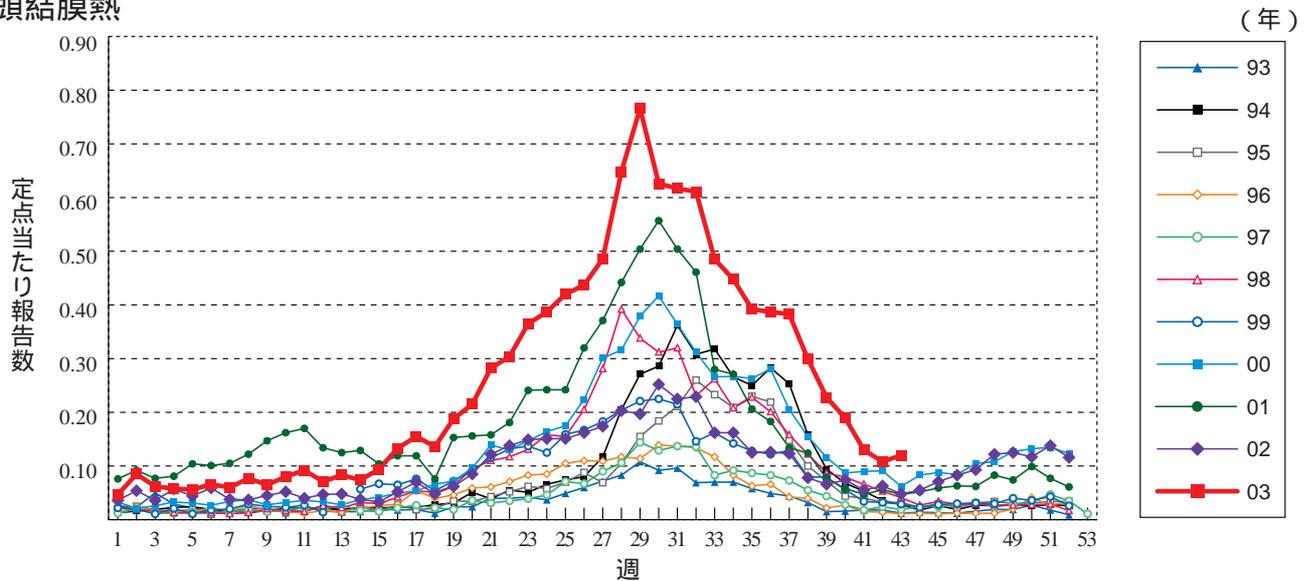


グラフ総覧(43週)

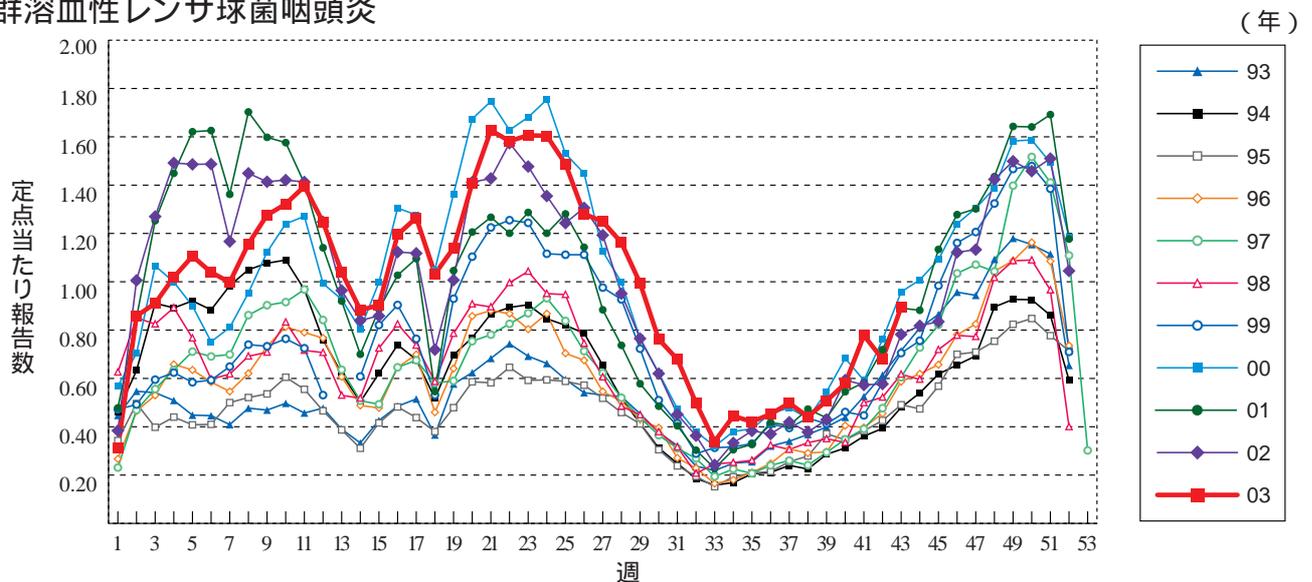
インフルエンザ



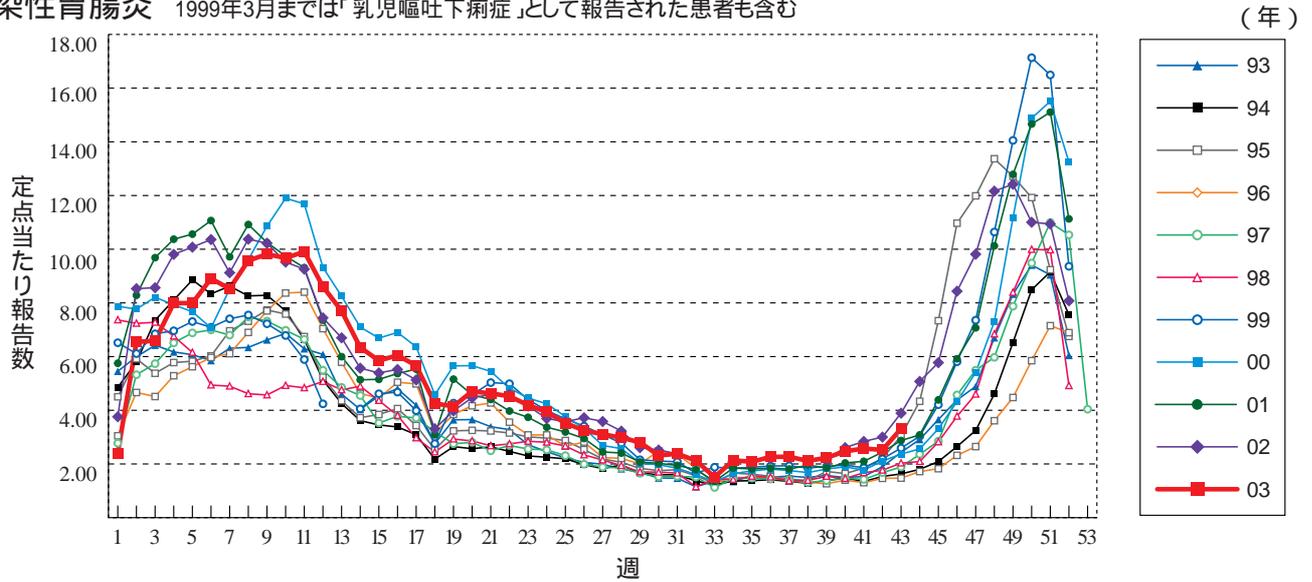
咽頭結膜熱



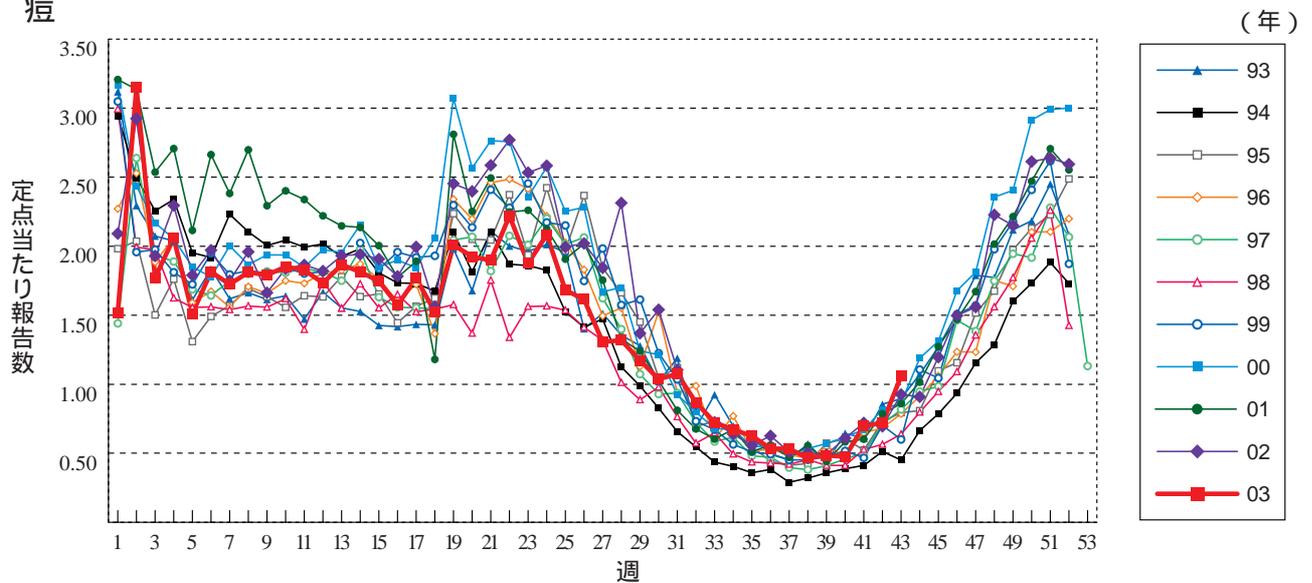
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



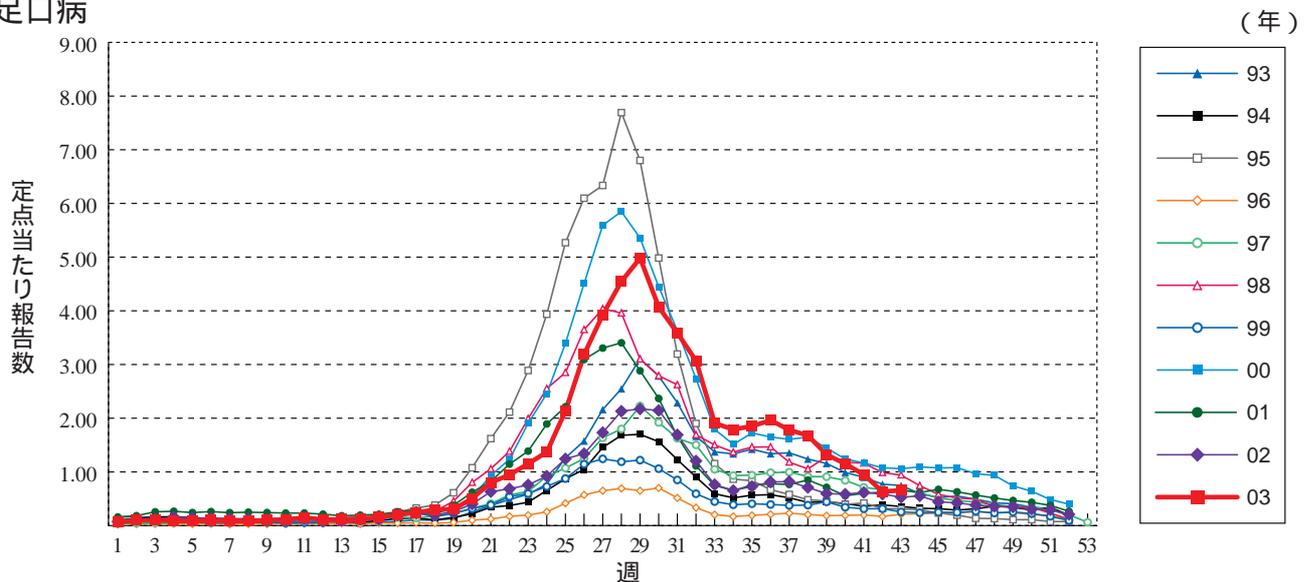
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



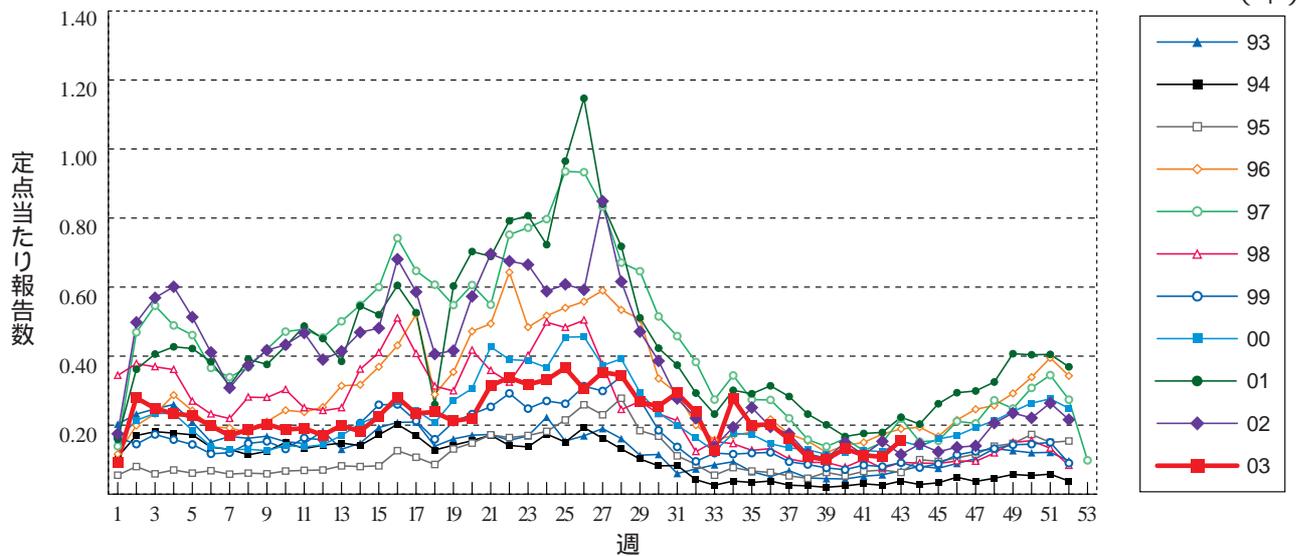
水痘



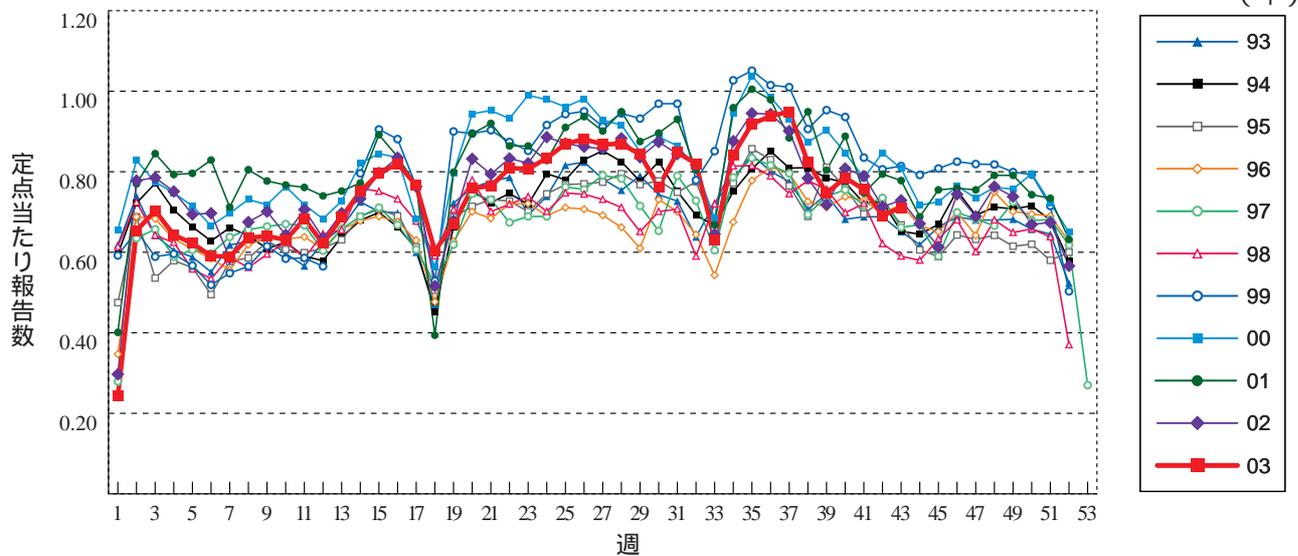
手足口病



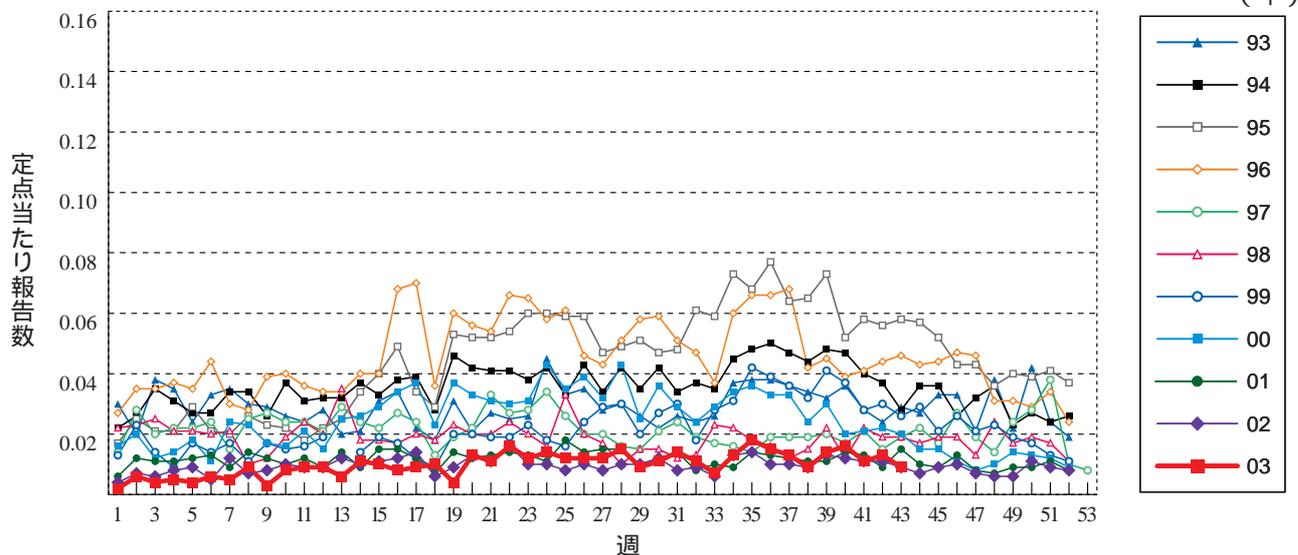
伝染性紅斑



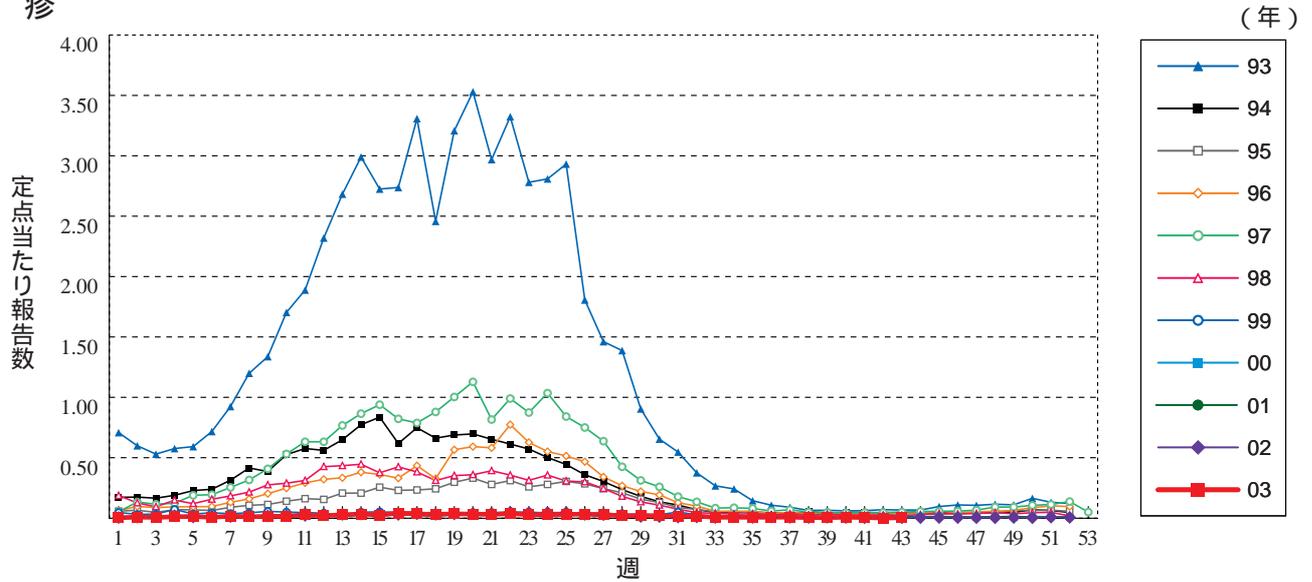
突発性発疹



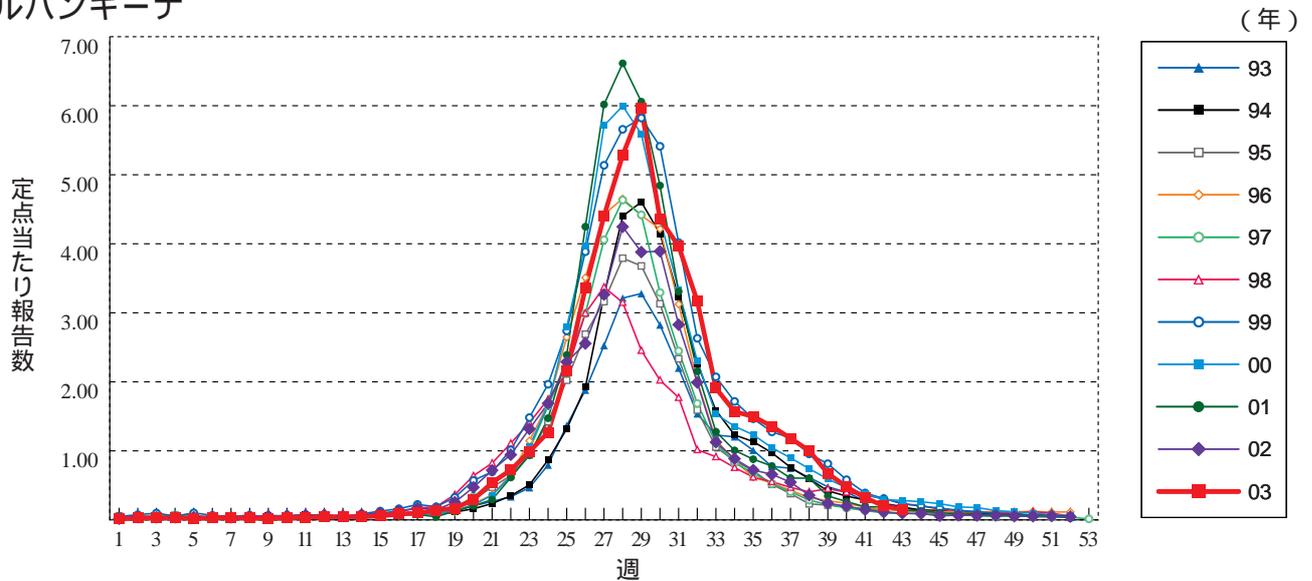
百日咳



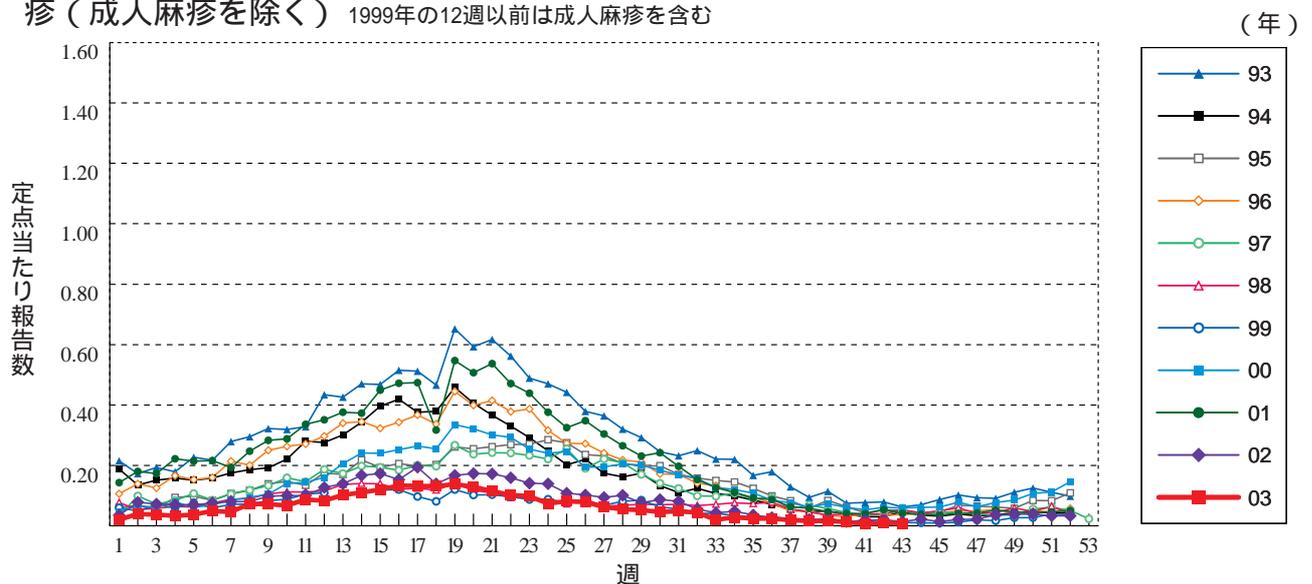
風 疹



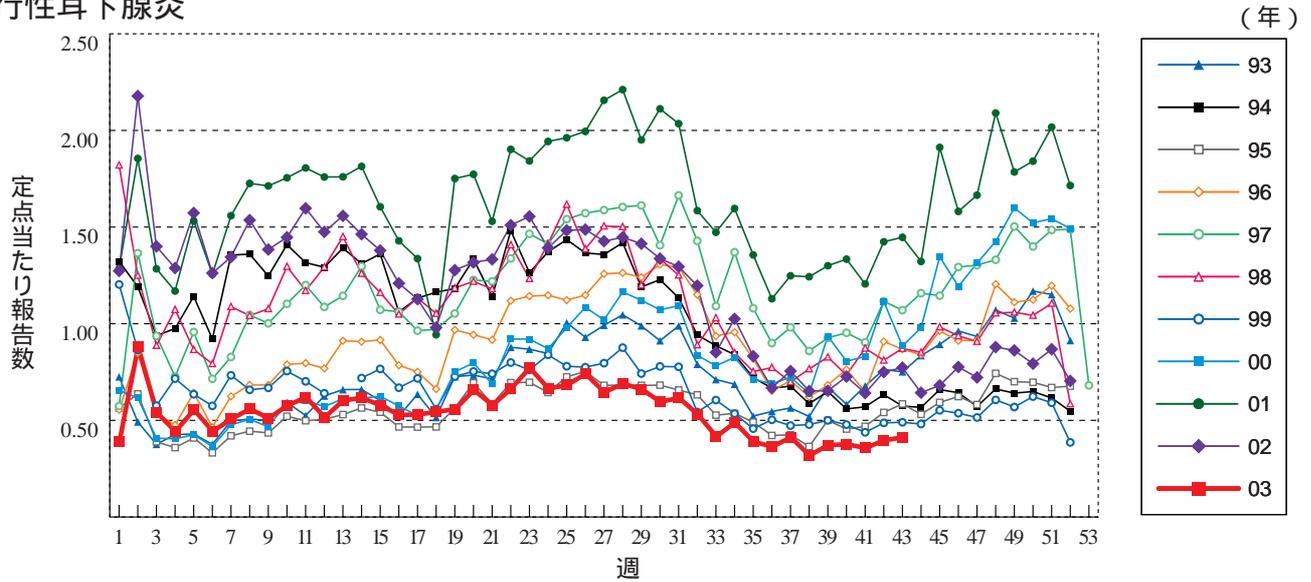
ヘルパンギーナ



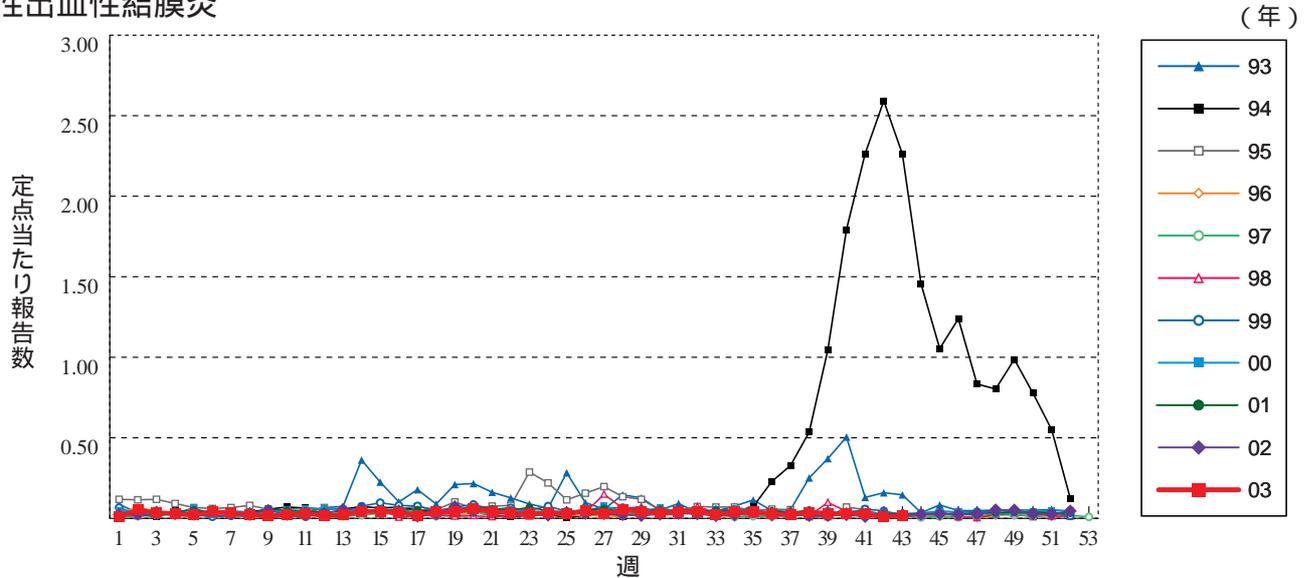
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



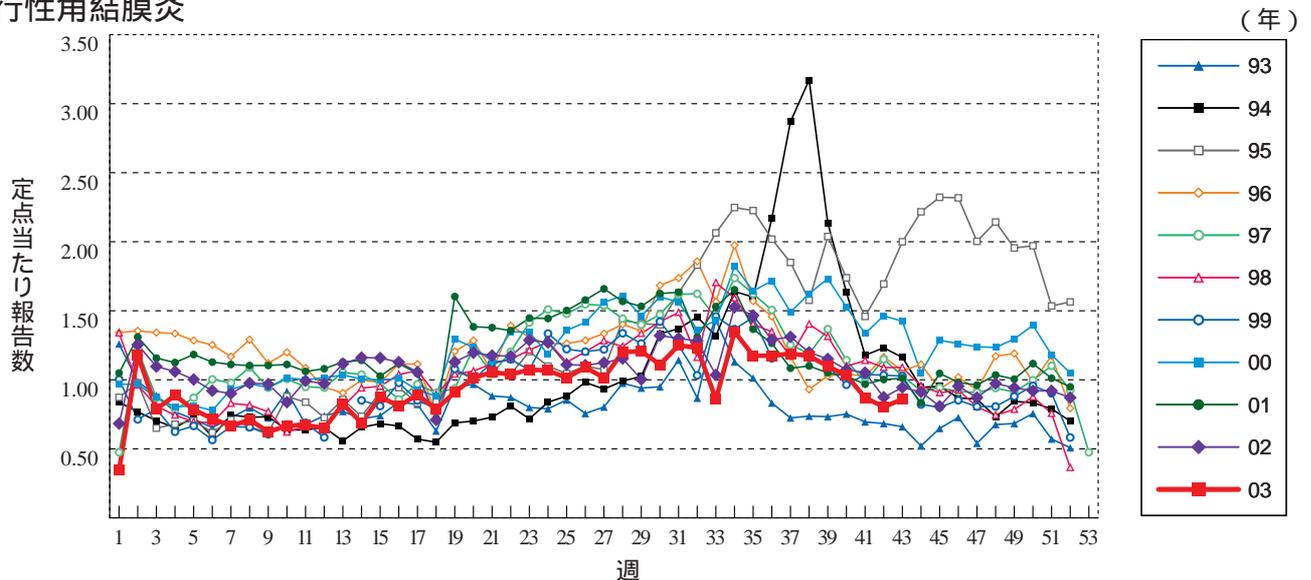
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

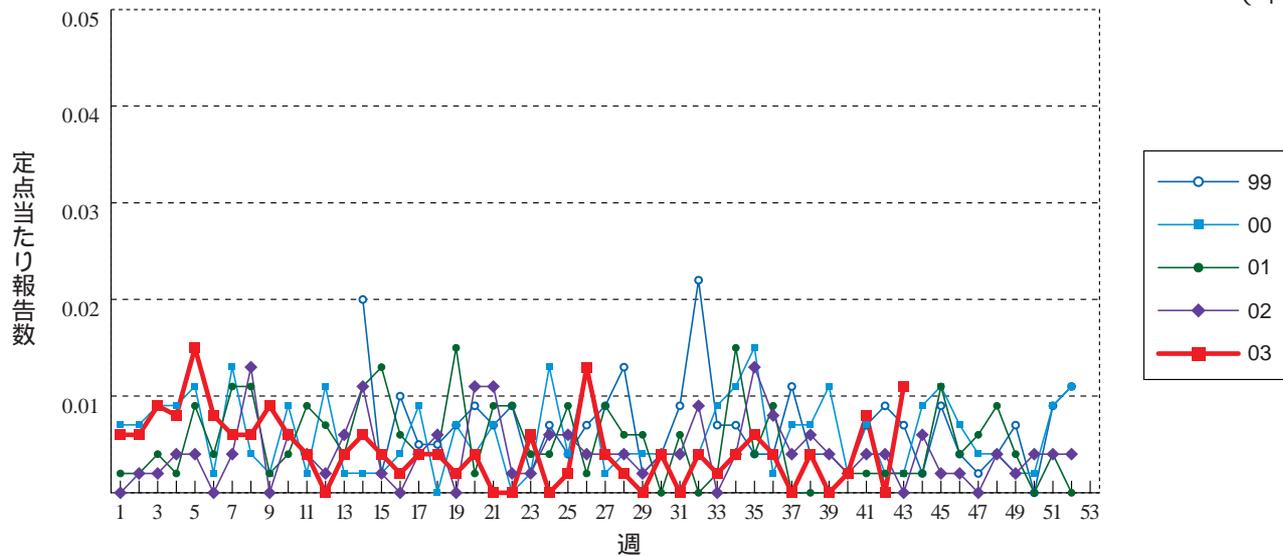


流行性角結膜炎



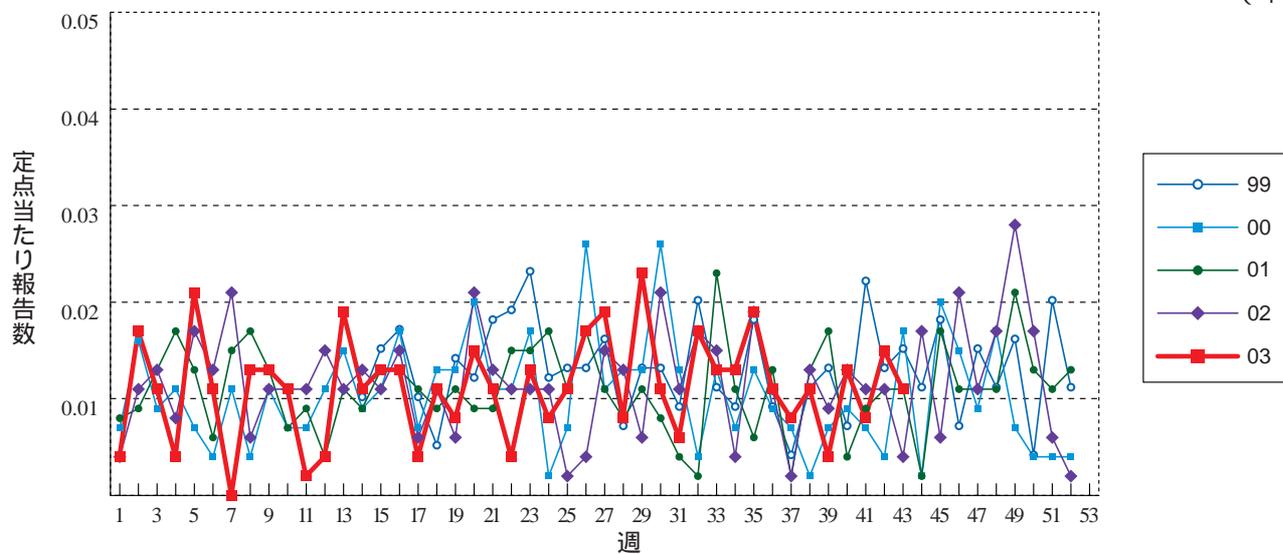
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



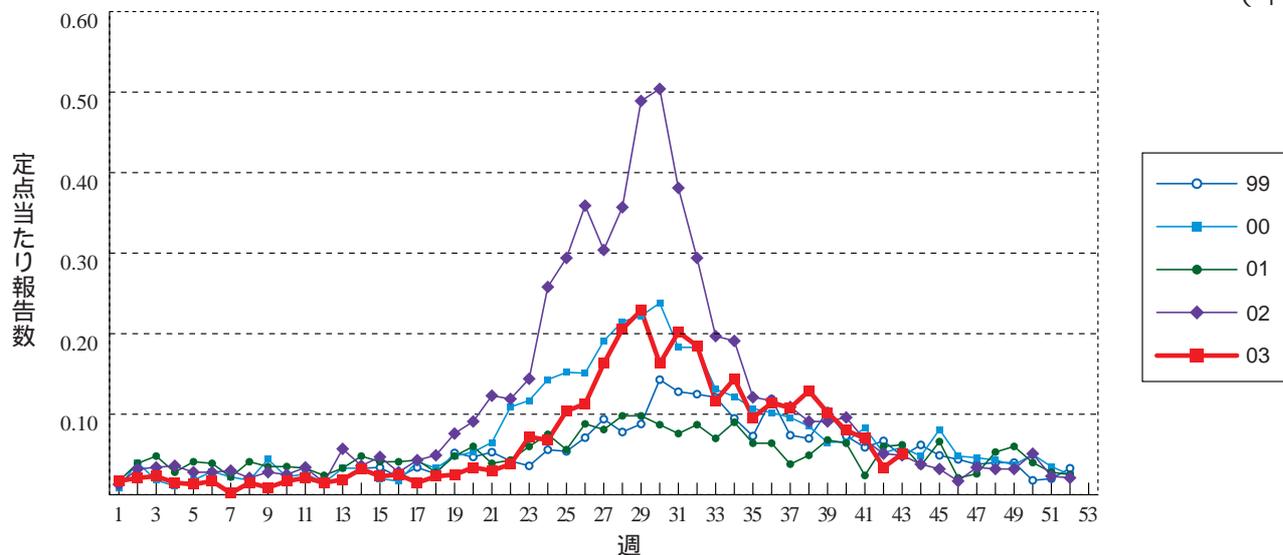
細菌性髄膜炎

(年)



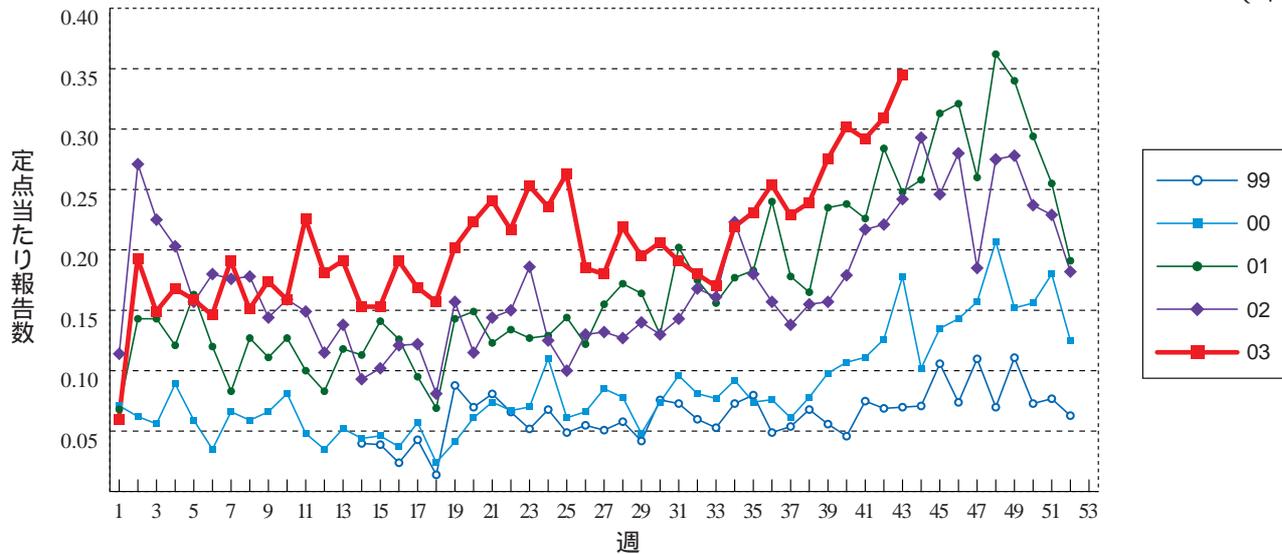
無菌性髄膜炎

(年)



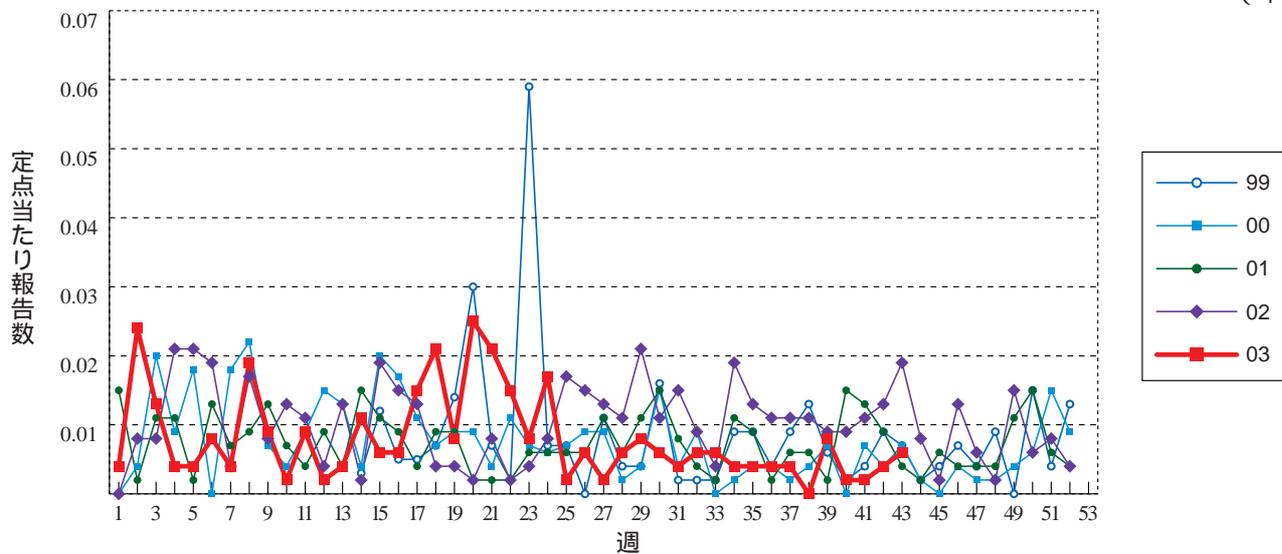
マイコプラズマ肺炎

(年)



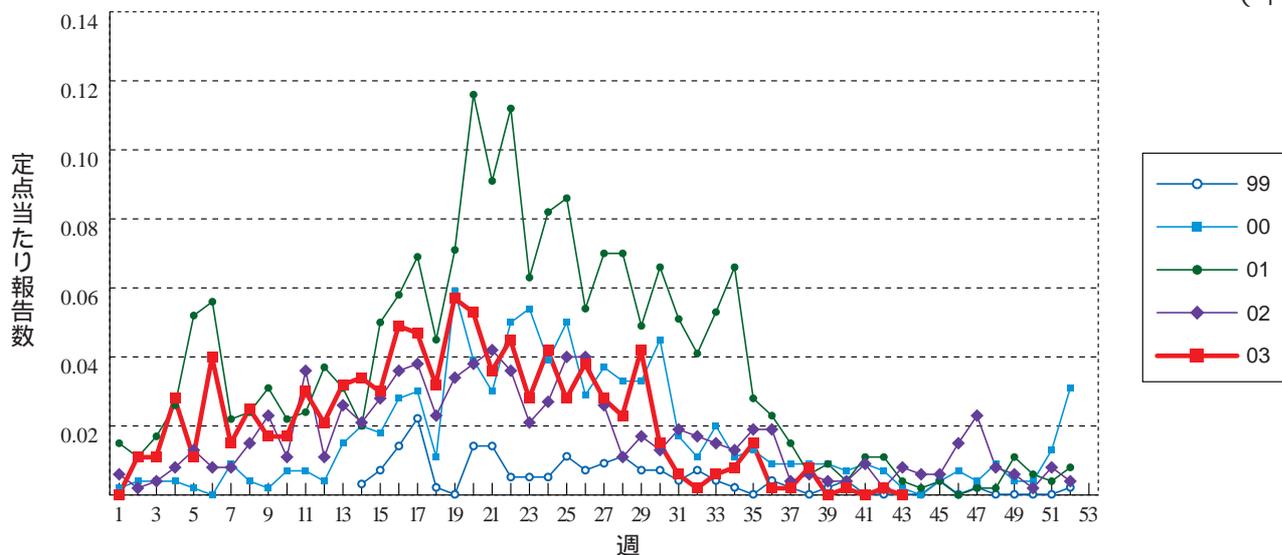
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





43週のデータ

注)表中の報告数は10月30日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年43週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	10	411	-	51	-	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	2	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	91	-	17	-	5	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	25	-	2	-	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	20	-	5	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	3	-	5	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	13	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	26	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	52	2209	1	414	-	16	-	-	1	38	-	-	3	566
北海道	-	-	-	-	1	47	-	8	-	15	-	-	-	1	-	-	-	14
青森県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	46	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
宮城県	-	-	-	-	2	45	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
秋田県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	1	19	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
茨城県	-	-	-	-	-	24	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
栃木県	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
埼玉県	-	-	-	-	2	78	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	21
千葉県	-	-	-	-	2	89	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	3	164	-	98	-	-	-	-	-	2	-	-	-	58
神奈川県	-	-	-	-	-	56	-	39	-	-	-	-	-	4	-	-	-	28
新潟県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	2	99	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
福井県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	11	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	37	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	1	57	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	7	41	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	76	-	32	-	1	-	-	-	2	-	-	-	20
三重県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	57	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	2	149	1	61	-	-	-	-	-	8	-	-	1	61
兵庫県	-	-	-	-	-	137	-	11	-	-	-	-	-	4	-	-	-	29
奈良県	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	81	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	2	46	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	24
山口県	-	-	-	-	1	45	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	1	15
徳島県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	1	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	202	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52
佐賀県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	1	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	17	113	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	-	48	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
鹿児島県	-	-	-	-	-	42	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	7	-	-	-	7	1	94	-	45	6	734	-	1	-	81	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	10	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	2	23	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	30	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	5	-	11	-	4	3	288	-	-	-	27	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	59	-	-	-	13	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	22	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	41	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	13	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	1	64	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	14	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	9	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	16	-	1	-	-	3	152	1	26	1	45	-	-	-	-	4	393
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	4	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-	55
神奈川県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	21
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	61
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	1	14
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大分県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	12	-	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	55	1	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67	-	4	1	123
北海道	-	2	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
栃木県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
群馬県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	15
神奈川県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	6
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
大阪府	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	10
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
広島県	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年43週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	20	0.00	365	0.12	2727	0.89	10090	3.31	3224	1.06	2008	0.66	475	0.16	2165	0.71	28	0.01
北海道	-	-	15	0.10	205	1.41	239	1.65	247	1.70	179	1.23	73	0.50	81	0.56	-	-
青森県	-	-	-	-	29	0.69	167	3.98	28	0.67	39	0.93	2	0.05	22	0.52	-	-
岩手県	-	-	-	-	14	0.37	73	1.92	41	1.08	100	2.63	9	0.24	16	0.42	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	82	1.39	180	3.05	72	1.22	105	1.78	21	0.36	56	0.95	1	0.02
秋田県	-	-	1	0.03	41	1.17	74	2.11	28	0.80	134	3.83	3	0.09	15	0.43	1	0.03
山形県	-	-	12	0.40	71	2.37	88	2.93	65	2.17	43	1.43	3	0.10	23	0.77	1	0.03
福島県	-	-	-	-	56	1.17	152	3.17	54	1.13	36	0.75	6	0.13	37	0.77	-	-
茨城県	2	0.02	10	0.14	39	0.53	188	2.54	58	0.78	15	0.20	7	0.09	34	0.46	5	0.07
栃木県	-	-	4	0.09	36	0.78	370	8.04	28	0.61	25	0.54	6	0.13	39	0.85	-	-
群馬県	-	-	5	0.08	83	1.34	133	2.15	109	1.76	27	0.44	10	0.16	36	0.58	-	-
埼玉県	-	-	6	0.04	204	1.27	738	4.58	234	1.45	39	0.24	13	0.08	145	0.90	-	-
千葉県	-	-	23	0.18	169	1.31	329	2.55	133	1.03	47	0.36	44	0.34	105	0.81	2	0.02
東京都	1	0.01	17	0.12	77	0.54	508	3.58	98	0.69	29	0.20	27	0.19	72	0.51	1	0.01
神奈川県	-	-	32	0.15	190	0.92	644	3.11	193	0.93	62	0.30	34	0.16	169	0.82	1	0.00
新潟県	-	-	3	0.05	59	0.98	210	3.50	69	1.15	20	0.33	16	0.27	48	0.80	-	-
富山県	-	-	2	0.07	37	1.28	168	5.79	28	0.97	24	0.83	3	0.10	16	0.55	-	-
石川県	-	-	2	0.07	13	0.45	160	5.52	31	1.07	9	0.31	7	0.24	14	0.48	-	-
福井県	-	-	6	0.27	19	0.86	194	8.82	25	1.14	5	0.23	19	0.86	15	0.68	-	-
山梨県	1	0.02	-	-	1	0.04	22	0.88	5	0.20	23	0.92	4	0.16	6	0.24	-	-
長野県	-	-	1	0.02	55	1.00	146	2.65	68	1.24	95	1.73	10	0.18	48	0.87	-	-
岐阜県	1	0.01	12	0.23	34	0.64	113	2.13	35	0.66	19	0.36	7	0.13	28	0.53	-	-
静岡県	-	-	6	0.07	59	0.69	269	3.13	65	0.76	107	1.24	14	0.16	55	0.64	-	-
愛知県	-	-	19	0.10	170	0.93	459	2.52	203	1.12	48	0.26	24	0.13	129	0.71	-	-
三重県	1	0.01	10	0.22	51	1.13	251	5.58	72	1.60	24	0.53	2	0.04	41	0.91	-	-
滋賀県	-	-	4	0.13	20	0.63	40	1.25	29	0.91	9	0.28	1	0.03	27	0.84	-	-
京都府	-	-	-	-	33	0.43	305	4.01	42	0.55	8	0.11	8	0.11	47	0.62	4	0.05
大阪府	2	0.01	21	0.11	109	0.56	518	2.66	164	0.84	30	0.15	11	0.06	125	0.64	1	0.01
兵庫県	4	0.02	7	0.05	82	0.64	474	3.70	189	1.48	86	0.67	20	0.16	75	0.59	3	0.02
奈良県	-	-	5	0.14	16	0.46	48	1.37	49	1.40	10	0.29	2	0.06	16	0.46	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	15	0.48	93	3.00	27	0.87	7	0.23	1	0.03	16	0.52	1	0.03
鳥取県	-	-	13	0.68	68	3.58	64	3.37	22	1.16	47	2.47	2	0.11	13	0.68	3	0.16
島根県	-	-	-	-	16	0.70	63	2.74	31	1.35	4	0.17	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	29	0.54	173	3.20	35	0.65	33	0.61	1	0.02	28	0.52	-	-
広島県	-	-	8	0.11	57	0.76	251	3.35	89	1.19	20	0.27	15	0.20	62	0.83	1	0.01
山口県	-	-	13	0.27	58	1.18	195	3.98	35	0.71	6	0.12	4	0.08	47	0.96	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	20	0.87	81	3.52	22	0.96	22	0.96	1	0.04	10	0.43	-	-
香川県	-	-	-	-	11	0.34	182	5.69	28	0.88	11	0.34	2	0.06	22	0.69	1	0.03
愛媛県	-	-	18	0.46	30	0.77	182	4.67	61	1.56	56	1.44	1	0.03	33	0.85	-	-
高知県	-	-	9	0.29	43	1.39	43	1.39	11	0.35	9	0.29	1	0.03	27	0.87	-	-
福岡県	-	-	15	0.13	144	1.20	516	4.30	123	1.03	69	0.58	7	0.06	118	0.98	2	0.02
佐賀県	-	-	4	0.17	18	0.78	101	4.39	15	0.65	20	0.87	-	-	33	1.43	-	-
長崎県	2	0.03	3	0.07	25	0.57	160	3.64	23	0.52	22	0.50	4	0.09	19	0.43	-	-
熊本県	-	-	13	0.27	31	0.63	160	3.27	65	1.33	166	3.39	3	0.06	44	0.90	-	-
大分県	-	-	19	0.53	24	0.67	126	3.50	56	1.56	11	0.31	5	0.14	40	1.11	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	59	1.59	176	4.76	53	1.43	11	0.30	19	0.51	45	1.22	-	-
鹿児島県	2	0.02	16	0.28	19	0.33	237	4.09	44	0.76	61	1.05	2	0.03	41	0.71	-	-
沖縄県	4	0.07	-	-	6	0.18	27	0.79	22	0.65	36	1.06	1	0.03	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年43週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	13	0.00	467	0.15	24	0.01	1254	0.41	12	0.02	547	0.86	5	0.01	5	0.01	24	0.05
北海道	-	-	49	0.34	3	0.02	56	0.39	-	-	30	1.03	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	5	0.12	-	-	21	0.50	1	0.09	14	1.27	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	3	0.08	-	-	8	0.21	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	9	0.15	-	-	25	0.42	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	4	0.11	1	0.03	3	0.09	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.13	-	-	10	0.33	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	9	0.19	-	-	39	0.81	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	4	0.05	1	0.01	14	0.19	1	0.06	28	1.75	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	2	0.04	1	0.02	10	0.22	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	6	0.10	-	-	63	1.02	-	-	14	1.00	-	-	-	-	3	0.30
埼玉県	-	-	16	0.10	1	0.01	74	0.46	1	0.03	21	0.57	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	17	0.13	-	-	62	0.48	1	0.03	8	0.24	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	21	0.15	2	0.01	34	0.24	-	-	13	0.93	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	35	0.17	2	0.01	60	0.29	-	-	39	0.93	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	5	0.08	1	0.02	40	0.67	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	5	0.17	-	-	7	0.24	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	2	0.07	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	1	0.20
福井県	2	0.09	2	0.09	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
山梨県	-	-	-	-	-	-	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	21	0.38	-	-	14	0.25	-	-	7	0.64	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	16	0.30	-	-	8	0.15	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	6	0.07	-	-	42	0.49	-	-	19	0.95	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	15	0.08	2	0.01	108	0.59	-	-	25	0.71	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	-	-	19	0.42	-	-	5	0.42	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	11	0.34	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	1	0.01	1	0.01	19	0.25	1	0.05	16	0.84	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	9	0.05	2	0.01	55	0.28	1	0.02	32	0.65	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	4	0.03	-	-	97	0.76	-	-	26	0.74	1	0.08	1	0.08	1	0.08
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	11	0.31	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	-	-	5	0.16	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	6	0.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	1	0.04	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	1	0.02	15	0.28	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	5	0.07	1	0.01	17	0.23	-	-	31	1.55	-	-	1	0.05	1	0.05
山口県	-	-	16	0.33	-	-	67	1.37	2	0.22	4	0.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	9	0.39	1	0.04	5	0.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.09	-	-	12	0.38	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	13	0.33	-	-	7	0.18	-	-	20	2.86	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	11	0.35	-	-	38	1.23	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	27	0.23	-	-	53	0.44	-	-	24	0.92	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	15	0.65	-	-	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	4	0.09	12	0.27	1	0.13	13	1.63	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	-	-	17	0.35	-	-	16	0.33	1	0.11	14	1.56	1	0.07	-	-	6	0.40
大分県	-	-	18	0.50	-	-	11	0.31	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	37	1.00	-	-	25	0.68	-	-	13	3.25	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	9	0.16	-	-	24	0.41	-	-	7	1.17	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	-	-	3	0.09	-	-	8	0.24	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年43週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	163	0.34	3	0.01	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	13	0.65	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	-	-	-	-
秋田県	4	0.57	-	-	-	-
山形県	9	0.90	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	12	1.20	-	-	-	-
栃木県	4	0.57	-	-	-	-
群馬県	3	0.30	1	0.10	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	7	0.28	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	7	0.58	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	4	0.67	-	-	-	-
山梨県	8	0.80	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	3	0.30	-	-	-	-
愛知県	6	0.46	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.40	-	-	-	-
兵庫県	3	0.25	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	5	0.45	-	-	-	-
鳥取県	8	1.60	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	15	3.00	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	2	0.22	-	-	-	-
徳島県	1	0.14	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	7	1.17	-	-	-	-
長崎県	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第43号 平成15年11月10日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。